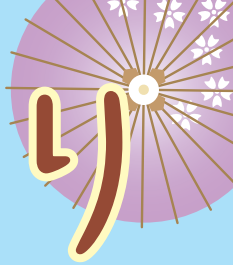




たかぎ 議会だより



No.110 令和7年8月

P2 議長あいさつ・インタビュー

P6

審議内容・補正予算

P3 新議会組織図

P7

一般質問

村議選を終えて・臨時会

P8

この村でがんばってます

P4.5 常任委員会と議員の紹介

～新しい議会
どう変わる?～



香木村ホームページ
議会コーナーに
掲載しました

- * 第1回臨時会、第2回定例会議案審議結果
- * 令和6年地域課題報告
 - ・総務産業建設常任委員会報告
 - ・社会文教常任委員会報告





議会新体制がスタート

議長 下平 貢

あいさつ

令和7年6月改選により、議長の任を務めさせていただきます小川区出身の下平貢でございます。就任から1ヶ月半余りが過ぎようとしていますが、議長という大任を押し、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

議員定数を12名から10名に削減し、12年ぶりに行なわれた議会議員選挙により、現職8名、新人2名という新しいメンバーでのスタートとなりました。それぞれの候補が掲げた公約を基に、まさに12年ぶりに住民の方々へ向け自分たちの声を発した選挙ということで、住民の皆様からは様々な反響を頂いたと共に、住民の皆様からいただいた期待に応える重責を背負っての議会が始まったと感じています。

議会は、行政のチェック機能をはじめ様々な使命が課せられています。特に、地域づくりの課題解決にむけた取り組みは重要で、議会としてやるべきことは、課題の抽出と共有を図り、調査を進め、議論を深め結論（方向性）を導き出していくことに本質があると考えます。議員一人一人の得意分野を充分に発揮し、住民付託に応えられる議会形成を目指して参ります。

「議会は何をやっているのかわからない」とよく言われます。議会活動は非常に地味で地道な活動であることから、なかなか住民の皆様には評価して頂く状況というのが見えづらいところです。住民の皆様との対話の機会を少しでも多くし住民福祉につなげられる活動に取り組んで参ります。

住民の一人おひとりを始め、地域の皆様方との連携を深めながら、地域づくりに励んで参りますので、一層のご支援、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

新人議員が聞きました

議員になろうと思ったきっかけは何ですか？



下平議長

8年前になりますが、NPO たかぎの仕事もさせて頂いた関係もあり、当時から村との関わりもありました。地域の皆様の推薦も頂き、こんな私でも役に立てるのならということで決心させて頂いたことを覚えています。



松島議員

今回、12年ぶりの村議選の感想をお聞かせください。



下平議長

2期連続の無投票という結果、2期目は欠員の状況であったことから、選挙戦となったことは良かったと捉えています。候補それぞれの考えを住民の皆様にお示しできたことは、当たり前のこととはいえ、漸く原点に戻れたのだと思っています。



松島議員

議会として一番大切にしたいことは何ですか？



下平議長

「対話と発信の強化」「機能と効率化」で議会力を高め、住民とともに未来を創る議会を目指します。



松島議員

好きな食べ物は？

練り物、海産物。

好きな音楽は？

最近は80年代の歌謡曲にふけています。



下平議長



松島議員



議会の新体制

職名		氏名	職名	氏名
議長		下平 貢	社会文教 常任委員会	委員長 福澤 眞理子
副議長		佐藤 文彦		副委員長 櫻井 登
監査委員		後藤 章人		委員 中森 高茂
予算決算 常任委員会	委員長	福澤 一成		委員 後藤 章人
	副委員長	小川原 美智穂		委員 佐藤 文彦
総務産業建設 常任委員会	委員長	清水 和文	議会運営 委員会	委員長 佐藤 文彦
	副委員長	福澤 一成		副委員長 福澤 眞理子
	委員	松島 りえ		委員 清水 和文
	委員	小川原 美智穂		委員 福澤 一成
	委員	下平 貢		委員 下平 貢

村議会議員選挙を終えて

12年ぶりの選挙を終え、定数削減後の10名の議員での新たな議会が発足した。先に行われた飯田市議選・高森町議選も無投票であった。全国的に議員のなり手不足が叫ばれる中、喬木村では議会選挙となった。選挙戦では経験者2名を除く10名が初体験の5日間の選挙戦を展開した。しかし投票率の低下が選挙の課題として残された。



議員紹介のページでは、選挙で大変だった事、楽しかった事を各議員が掲載しました。

令和7年第1回 臨時会 審議内容 6月25日開催

議長選挙	下平貢議員・櫻井登議員の2名立候補による選挙 下平貢議長が選出された（下平議員8票・櫻井議員2票）
副議長選挙	佐藤文彦議員1名のみ立候補のため無投票により選出された
報告第1号	令和7年4月1日付組織改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 ⇒ 各条例の文言の修正（生活環境課を建設環境課に改める）
報告第2号	令和6年度村道6号線舗装修繕工事変更請負契約の締結（九十九谷） ⇒ 変更前約9,939万円を約1億58万円に変更
報告第3号	喬木村税条例の一部を改正する条例の制定 ⇒ 軽自動車税（原付2輪車）新規基準に伴う改正他 ※詳細は住民窓口課にお問い合わせください
報告第4号	喬木村国民保険条例の一部を改正する条例の制定 ⇒ 基礎課税額を65万円から66万円に改正
報告第5号～8号	一般会計及び国保・後期高齢者・介護保険3特別会計の補正予算
報告第9号	一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について
報告第10号・11号	上下水道事業会計予算繰越計算書の報告について
議案第27号	喬木村固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて ⇒ 中島 強さんを選任 喬木村 1061 番地 2（任期 R7.6.28～R10.6.27）
議案第28号	監査委員の選任につき同意を求めることについて ⇒ 後藤章人議員を選任 喬木村 896 番地 3（任期 R7.6.25～R11.6.24）

総務産業建設常任委員会

委員長 清水和文（1期）

① 繋がりのある明るい地域にするための地域教育の充実、遊休の農地・鳥獣被害対策等による農地保全、三遠南信自動車道開通・リニア中央新幹線開通に向けてインフラ整備や観光資源の開発等を重点的に取り組む。

② 約49万円

③ 初めての選挙活動で先輩の方々のご指導を受け、公職選挙法の改正部分を確認し、選挙を戦いました。多くの方々の応援が大きな力になり、「がんばるぞ。」と自分に言い聞かせて、選挙活動を乗り切ることができました。



下伊那北部ブロック 町村議会提出議案

県道上飯田線の交通アクセス改善について

県道上飯田線が中央自動車道、リニア長野県駅（仮称）、三遠南信自動車道を結ぶ大動脈として機能し、地域の発展に寄与することが期待されることから、下記事項を提言します。

- 1 阿島橋架け替えを早期事業化すること。
- 2 県道上飯田線と座光寺上郷道路との交通アクセスを改善すること。
- 3 小川・下氏乗間をトンネル化によりバイパス整備すること。

副委員長 福澤一成（2期）

① 少子高齢化・人口減少は多くの課題を引き起こしていますが、“美し里喬木村”への愛着を原点に“希望あふれるむらづくり”に向け、「つながり」を土台に未来を語り合い、行動することが「安心」とのその先に、「希望」に満ちた喬木村の未来があると信じます。

② 約40万円

③ 初めての立ち上げを行い、選挙カーで思いを伝えた5日間は大変だった。しかし、後援会の皆様や大変多くの方々に応援や励ましをいただき、これからの4年間への責任を強く感じる事が出来ました。選挙後も「頑張ってくれ」の一言が今までにない絆を感じさせてもらっています。



松島りえ（1期）

① 喬木村を豊かで魅力的な村にするために、農家を支援し、苺以外の第2ブランドを作り、空き地や耕作放棄地を有効活用する。

② 約35万円

③ 大変だったこと：5日間朝から晩まで声を出して、体力的に大変だった。
楽しかったこと：喬木村の様々な場所へ行って、いろんな人に出会えたこと。そして暖かいご支援を頂き、感動しました。



小川原美智穂（2期）

① 「喬木らしく住み続けたいと思う村づくり」や「安心安全な村づくり」を実現するために、『みなさんの声を聞かせてください！』みなさんの声を、村や県、国へつなぐ役割を担わせていただきたいと訴えてまいりました。

② 約23万円

③ お天気が悪く、街頭演説で自分の思いを伝えることが、なかなか叶わず大変だったが、5日間自らがマイクを握り、自分の思いを遊説車から伝えることができて楽しかった。（良かった）



下平 貢（3期）

① 人口減少社会において、直面する地域課題解決への道筋をつけることと、地域力向上に向けた取組が急務と捉えており、社会変化に順応した地域作りを目指すと共に、地域の枠を超えた互いに補完しあえる仕組み作りが必要だと考えます。

② 約30万円

③ 3期目への挑戦とはいえ、初の5日間の運動期間を経験させて頂きました。公職選挙法に則り、その活動に制約がある中で運動ということもあり、広報車での運動が中心でした。短い期間の中でいかに自分の思いが伝わったのかは疑問が残るところです。



① 選挙で訴えたかったこと ② 選挙費用 ③ 選挙で大変だったこと、楽しかったこと

社会文教常任委員会

下伊那北部ブロック 町村議会提出議案

公立高校タブレット端末の公費配備

今年度の県への要望は、高校入学時の負担軽減がテーマ。高校入学時(公立)は平均30万円程の学校納入金の他、通学費用等負担がある。授業に必要なタブレット端末は平均5万円程かかり、長野県では2022年度から保護者負担となっている。全国では23府県が公費で配備されている。公立高校生のタブレット端末の公費による配備を求める内容で準備をしている。あわせて、国に支援を求めるよう要望する。

委員長 福澤真理子(3期)

- ① 医療・介護に40年間携わってきました。在宅の介護で両親を見送り、今は子育て応援です。子どもから高齢期まで、誰もが生き生きと元気に暮らすため、みなさんの願い実現に力を尽くします。ご一緒に力を合わせましょう。
- ② 約17万円
- ③ 事務所探し。「まり子さんは全国区だから大丈夫」と言われ、体制づくりに不安を感じたこと。一方、支援者の方との繋がりで地域を回る中、具体的なご要望もお聞きできたこと。今まで関りのなかった大勢の方とお話できたことはうれしく、楽しく、新しい繋がりができ、これからの楽しみでもある。



副委員長 櫻井 登(3期)

- ① 「産業振興」 雇用の場を作り「若者の雇用を創出」すること。「農業振興」 地域計画の目標は「10年後の担い手」。中山間地の特性を活かした「集落営農」による村の農業維持と地域コミュニケーションを図ること。「個」から「地域」の経営体を模索し「10年後の担い手確保」を実現すること。
- ② 約15万円
- ③ 選挙運動のすべて。3期目にして初めての実感。



中森高茂(4期)

- ① 少子高齢化・人口減少が加速する中で、また、激変する国際情勢下で、何気ない平穏な毎日が幸せであると感じられるために公約を掲げ取り組んでいくこと。(新たな地域づくり)
- ② 約54万円
- ③ 楽しかった事：運動員の皆さんと遊説中に過ごした休憩時間(田舎道・城山公園・さくらんぼ園・ラベンダー園・くりん草園など)



後藤章人(4期)

- 12年ぶりに選挙が実施されたが、選挙の大切さを改めて知ってほしかった。
- 学校教育の環境について。
- 人口減少による地域コミュニティの弱体化について問題提起したかった。
- ② 約43万円
- ③ 選挙で大変だったこと：悪天候で有権者の皆様に私の思いが伝わったかどうか不安だったこと。
楽しかったこと：遊説の車内で休憩中、スタッフと選挙の事・村政の事について思い切り話せたこと。子ども達が名前を呼んで手を振ってくれたこと。



佐藤文彦(3期)

- ① 人口減少による縮小社会の中でも、千載一遇のチャンスを掴み、持続可能な村づくりを進め、住民の皆様が住んで良かったと感じていただける村であるために、引き続き行財政運営の監視・提言に取り組むこと。
- ② 約20万円
- ③ 若い世代中心の後援会組織だった為、日中の選挙活動(遊説など)の人員確保に苦慮した。SNSの活用や朝の辻立ちなど、今までにない活動の提案をいただき、スタッフ全員で「今できる事」に楽しく取り組めた。



① 選挙で訴えたかったこと ② 選挙費用 ③ 選挙で大変だったこと、楽しかったこと

令和7年第2回 喬木村議会 定例会 審議内容

令和7年7月7日に開会された第2回喬木村議会定例会において下記議案をすべて可決した。
(議案第29号～32号は開会日、議案第36号は閉会日追加議案)

議案第 29 号	喬木村議会議員及び喬木村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定
公職選挙法施行令の一部改正に伴い、選挙公営の限度額の引き上げを行うため。 ⇒ 選挙ビラ 現行1枚当たりの作成単価7円73銭を、8円38銭に改正 ⇒ 選挙ポスター 現行1枚当たりの作成単価541円31銭を、586円88銭に改正	
議案第 30 号	特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定
国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正に伴い、選挙長等の費用弁償額の引き上げを行うため ⇒ 選挙長・投票管理者・期日前投票所の投票管理者・開票管理者・投票立会人 期日前投票所の投票立会人・開票立会人・選挙立会人	
議案第 31・32 号	喬木村水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定 喬木村下水道条例の一部を改正する条例の制定
災害その他非常の場合に、他の水道事業者（自治体）が指定した給排水工事事業者による給排水工事の実施を可能にすることで、宅内配管の復旧に対応する業者を確保する必要があるため	
議案第 36 号	財産の取得（業務用パソコン購入事業）
職員の使用している庁内ネットワーク接続用パソコンを更新（2025年10月にWindows10のサポートが終了するため）することにより、安全かつ効率的な業務を継続するため ⇒ ノートパソコン（Dynabook）90台（付属品・設定含む） ⇒ 契約金額 1,386万円	

予算決算常任委員会

委員長 福澤 一成

令和7年第2回定例会において本委員会に付託された議案は第33号一般会計補正予算、第34号水道事業会計補正予算、第35号下水道事業会計補正予算の3議案。7月16日午後1時30分から予算決算常任委員会を開催し審査を行った。5件の質疑があり、討論はなく、本委員会としては可決すべきものと決定した。

安平町視察

Q 視察の目的は何か。

- A 安平町は子育て・教育を中心とした町づくりを推進しており、3年連続で社会人口増を果たしている。早来（はやきた）学園は、地域の共用エリア・学校の専用エリア・開放のエリアなど、こどもと大人を分けない学校運営を実践し先進性が高い。教育委員会、企画財政課5名で視察を予定。



早来学園の様子

受領委任払いの導入

Q 昨年12月定例会において、介護保険住宅改修・福祉用具の購入の受領委任払いの導入について質問をしたが、その後どのような状況か。

- A 北部町村では、介護保険住宅改修事業者・福祉用具の貸し出し事業者が受領委任払いについて対応していただければ進める方向で打合せ中、決定はしていない状況。

こども誰でも通園制度

Q 現状の一時預かりと来年度からの国の「こども誰でも通園制度」とは目的が違うと聞く。村の考えは。

- A 通園制度の詳細が国から示されていないが、現在の喬木村で行っている、こども家庭センターと保育園での2か所の一時預かりとはほぼ同様と考えているが、詳細が示されてから村として考える。



たかぎ保育園

第二小6年生が傍聴に 来てくれました

予算決算
委員会は
何をし
ているの？

どんな
人たちが
並んで
いるの？

議会って
年に何回
するの？





市瀬村政3期目の残り6ヶ月の重点施策は何か

小川原 美智穂 議員



Q 残りの任期6ヶ月、何を重点的に取り組んでいくのか

A 住民が一丸となって、地域づくりを一緒に取り組んで頂く姿勢を作っていく事が何よりも大事だと思っており、予算の実行はもちろん、これから先の村のあり方をしっかり問いかける6ヶ月にしたいと思っている。住民の皆さんが安心して暮らせる社会を作っていくことが、行政に与えられた最大の使命だと肝に銘じて、残りの任期をしっかり努めて参りたい。

■村として、阿島傘の製作拠点について



村内介護事業者の人材確保への支援は。助成の提案

福澤 眞理子 議員



Q ①村内介護事業所の従事者の状況
②資格取得にかかる費用の一部を助成することで村内事業所人材確保への支援は

A ①看護師の確保に苦慮している事業支所が多い。現時点では介護従事者の不足によるサービスの縮小や廃止に至ってはいない。従事者確保は重要な課題と認識している。
②県が実施している信州介護人材誘致・定着事業、介護職員研修受講支援事業がある。県の制度を周知し、資格を取得していただきたい。

■介護用品支給事業において対象者の拡充について



農業用ため池の防災対策、保全対応について

清水 和文 議員



Q ①農業用ため池について調査や届出状況及び危険箇所へ対応②ため池ハザードマップの作成③用途廃止の現況調査は

A 全国で緊急点検が行われ、元年度で13箇所のため池点検を実施、修繕必要が1箇所、経過観察が3箇所の状況。県に届け出済み。修繕が必要な1箇所、2年度県単緊急農地防災事業で対応済み。住宅に影響が想定される防災上重点2箇所は「ため池ハザードマップ」を作成済み。調査以降、用途廃止なし。

■村単農業用施設等整備補助金の活用について
■受益者負担の助成制度について



住宅用耐震シェルター導入の推進について

福澤 一成 議員



Q 住宅用耐震シェルターは命を守る現実的な対策であり、導入の推進が必要ではないか

A 村では、旧耐震基準の木造住宅に無料の耐震診断と最大115万円の改修補助を行っている。耐震シェルターは現状補助対象外ですが、居室の空間確保により倒壊被害の犠牲を回避すること等の有効性を踏まえ、各世帯の経済状況に見合った耐震対策が可能となるよう財政支援制度創設を国・県に要望中です。

■水害時に避難情報を簡単にリアルタイムに活用できる画像表示について

本年度、広聴委員会では、村民の皆さんとごっくばらんに話をする中で、要望を取りまとめ、村や県・国へ提言していくことを目的に対話集会を随時計画して参ります。

第1回 議員と語るう会! のご案内

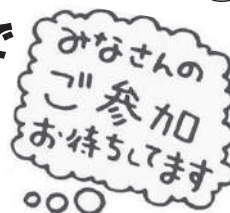
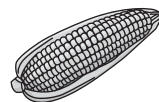
テーマ 有害鳥獣被害

日にち 令和7年10月2日(木)

時間 午後7時から午後9時まで

場所 南部防災センター(富田)

秘策、奇策や妙案がある人もない人も
ぜひ都合をつけてご参加ください





伊太利亜食堂 *Anti' Towarc* ~ アンティトワーク

高校卒業後専門学校に通うため、地元を離れ横浜に行きました。その後就職して32歳まで関東近郊で暮らしていました。10年前に喬木村に住むことになりました。帰ってきた時から飲食店を開業したいと思っていました。村内初のイタリアンレストランとして、アンティトワークを昨年12月9日にオープンすることができました。早くも9か月が過ぎようとしています。

当初お客様に来店いただけるか不安を抱えながら準備をしていた頃が懐かしく感じます。

オープンしてからは、今までの人生で味わったことのない貴重な経験をすることができました。ランチはリーズナブルな価格帯でパスタランチとピッツァランチ各3種類を、ランチコースもあり価格・ボリュームともに満足いただけると思います。ディナー帯は宴会できるイタリアンをコンセプトに、最大収容人数30名の宴会にも対応できます。イタリア・フランス産の小麦粉をブレンドして、ピザ生地を仕込み、400度のピザ窯で焼き上げるナポリピッツァが当店一のおすすめ品です。皆様にささえられておりますことに感謝いたします。ご来店をお待ちしております。



シェフの前島和弘さん

伊太利亜食堂 *Anti' Towarc* ~

住 所：喬木村874-4
TEL：0265-48-6239
定休日：火曜日



議 会 日 誌

5月

- 8日 全員協議会・議員全員協議会
- 21日 議会モニター懇談会

6月

- 10日 村議選告示
- 15日 村議選開票
- 25日 令和7年第1回議会臨時会

7月

- 7日 令和7年第2回議会定例会開会
全員協議会・議員全員協議会
- 14日 長野県町村議長会議員研修会
- 16日 本会議（一般質問）
各常任委員会
- 23日 本会議（閉会）
議員全員協議会

8月

- 5日 議員全員協議会
- 8日 下伊那北部町村議会議員研修
- 15日 令和7年第2回議会臨時会

今後の予定

9月

- 4日(休) 令和7年第3回議会定例会開会
全員協議会・議員全員協議会
- 10日(水) 本会議（一般質問）
各常任委員会
- 11日(木) 予算決算常任委員会
- 16日(火) 議会モニター懇談会
- 17日(水) 本会議（閉会）
議員全員協議会

10月

- 2日(休) 第1回議員と語ろう会

前号までの
議会だよりは
こちらから



喬木村
ホームページ



ちいき本棚



委員	委員	委員	副委員長	委員長
佐藤	櫻井	松島	福澤	中森
文彦	登	りえ	一成	高茂

広報委員会



(中森高茂)

3ページに掲載したように、改選後の新しい組織が決定しました。私たち広報委員会のメンバーも入れ替わり、今までの読みやすい議会便りを継承しながら、一人でも多くの住民の皆様にお読みいただけるよう、委員全員で自由闊達な意見交換しながら、「読みたくなる議会便り」を目指して取り組んで参ります。皆様の意見要望等お寄せ頂ければ幸いです。

あとがき